照明器具使用についての安全上のご注意

⚠ 警　告

火災のおそれがあります
- 器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります
- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

感電・火災のおそれがあります
- 異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談下さい。

感電のおそれがあります
- ランプの交換や器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

⚠ 注　意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下の原因**となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は**定期的に（６ケ月程度）保守点検**をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。

お　願　い

- ぬれた手で器具にさわらないでください、感電の原因となることがあります。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

ペンダント

タルジェッティ ポールセン ジャパン株式会社
〒106-0032　東京都港区六本木 5-17-1　アクシスビル３F
TEL 03-3586-5341　　FAX 03-3586-0478

※取付方法等、技術的内容に関してのお問い合わせ先
TEL　048-969-5288
平日 10:00～12:00 13:00～18:00 （土・日・祝日休み）

アエロス

取扱い説明書

○この度は、ルイスポールセンの照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくご覧のうえ、正しくご使用ください。

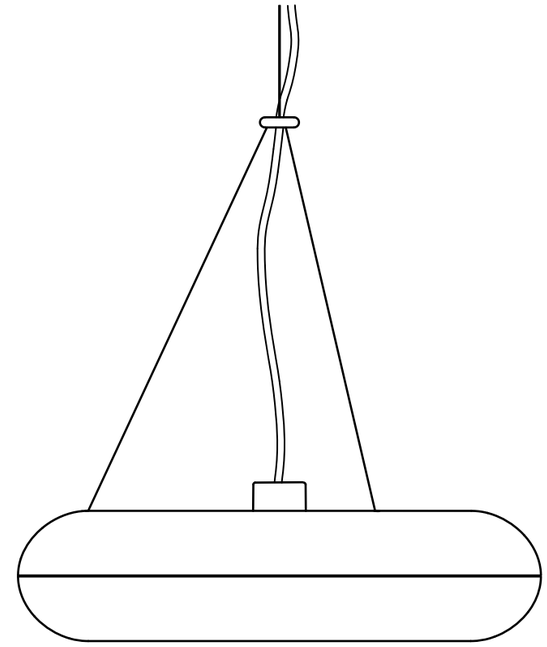
○電源の工事は専門の電気工事店におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

○万一破損したり、異常を感じた場合は、速やかに電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。

○電気工事店の方へ：
取付け工事が済みましたら、この説明書を必ずお客様にお渡しください。

○お客様へ：
この説明書は必ず保管してください。

○本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございますが、ご了承ください。



デザイン：ロス・ラヴグローヴ

17707-I1　10／11

louis poulsen

タルジェッティ ポールセン ジャパン株式会社

定格・仕様

電源電圧 ：交流 100V
適合ランプ：ハロゲンランプ 85W×1
　　クリア
ソ ケ ッ ト：E11
寸　　法：幅　　φ723mm
　　高　　724mm
　　1500mm ステンレス
　　ワイヤー付コード
質　　量：3kg
材質・仕上：アルミ 塗装仕上

お手入れの方法

よくしぼったぞうきんを使い、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

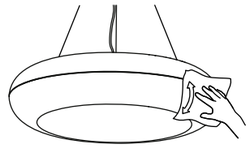
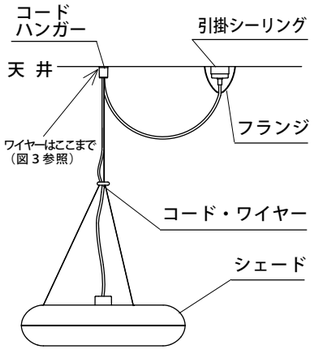


図 1



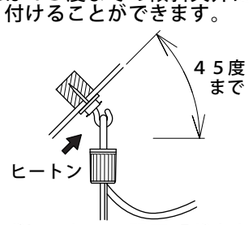
⚠ 注　意

コードハンガーの取り付けは天井の補強材のある位置に行ってください。

図 2

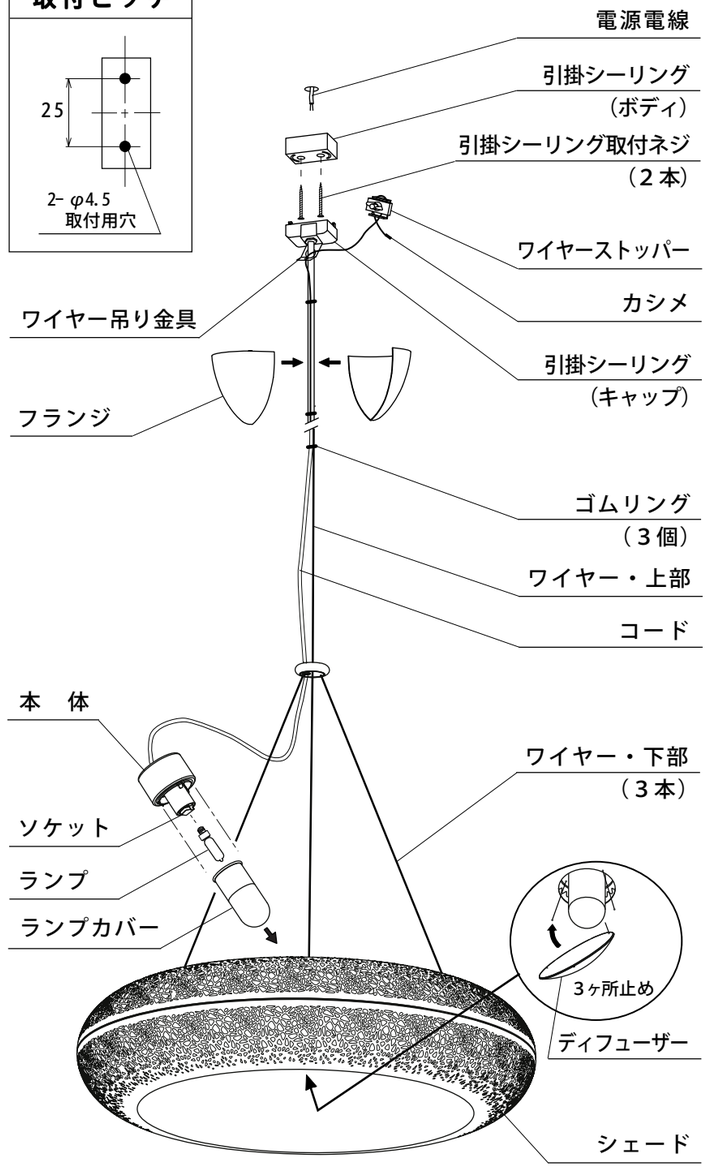
傾斜天井に取り付ける場合

•付属のコードハンガーを使用すれば４５度までの傾斜天井に取り付けることができます。



•必ずヒートンの開口部が上を向くように取り付けてください。

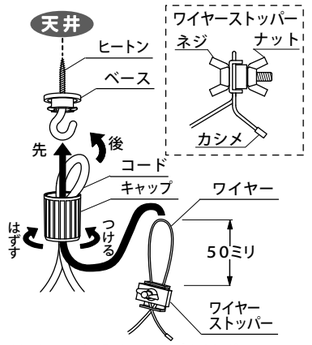
取付ピッチ



付属品

引掛シーリング取付ネジ　×２ ……
フランジ　×１ ……
コードハンガー　×１ ……
本体・ワイヤーセット　×１ ……
ディフューザー　×１ ……
ランプカバー　×１ ……
ランプ（E11 ハロゲンランプ クリア）85W ×１ ……

図 3 コードハンガーの取り付け方法



①ベースからキャップをはずす。
②ベースをつけたままヒートンを天井の補強のある場所にねじ込む。
③ワイヤー先端のカシメを切断し、ネジ、ナットをゆるめてワイヤーストッパーをはずす。
④ワイヤー吊り金具からワイヤーをはずす。
⑤シェードを吊る高さに合わせてワイヤーを切断する。
⑥ワイヤーをワイヤーストッパーに通し、先端を輪にしてからネジ、ナットで確実に固定する。
※下図のようにワイヤーストッパーを使わないで輪をつくる方法もあります。

⑦ワイヤーの輪と折り曲げたコードをキャップに通す。
⑧ワイヤーの輪、コードの順でヒートンに引掛ける。
⑨キャップを押し上げ、ベースに確実にねじ込む。

図４ フランジの取り付け方法

２枚のフランジでコードをはさみこむように取り付けてください。

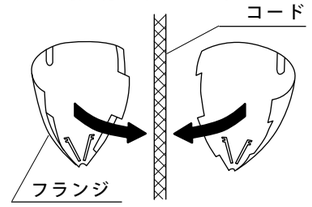


図 5

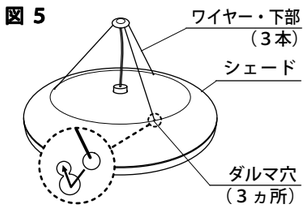
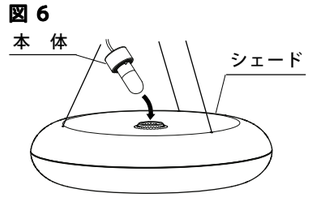


図 6



取付順序

- **本器具を取り付ける前に部品の不足やキズ、破損がないことを確認のうえお取り付けください。**

⚠**警告**　工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
⚠**警告**　ランプを取り付ける際には、必ず電源を切ってください。
⚠**警告**　電源電線の接続は取扱説明書にしたがい正しく接続してください。
　接続に不備があると、接続不良による発熱、火災の原因となります。
⚠**警告**　器具の取り付けは取扱説明書にしたがい正しく取り付けてください。
　取り付けに不備があると、器具の落下、感電、ケガの原因となります。
⚠**警告**　器具の取り付けは、取り付ける天井の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取り付けてください。
⚠**注意**　取り付けた器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となります。

※天井面に下図の引掛シーリング（ボディ）が付いている場合は、そのままお客様がお取り付けできます。
※丸型引掛シーリング（ボディ）には標準よりも厚みのあるものがあります。それにフランジを取り付けると天井面から多少浮いてしまうこともありますが、ご了承ください。

埋込引掛シーリング

丸型引掛シーリング

角型引掛シーリング

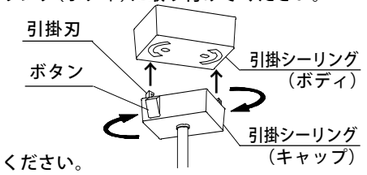
■コードハンガーを使用する場合

- コードハンガーは吊り下げ位置を調整するために使用します。（２ページ・図１参照）
- 傾斜天井に取り付ける際にも使用してください。（２ページ・図２参照）
- コードハンガーを使用する場合は、ワイヤー端末部分を付け替える必要があります。左記の説明をご覧ください（図３参照）

1
電源電線を引掛シーリング（ボディ）に接続し、引掛シーリング取付ネジ（２本）で天井に取り付けてください。
⚠**警告**　引掛シーリング（ボディ）の取り付けは専門の電気工事店に依頼してください。

2
引掛シーリング（キャップ）を天井の引掛シーリング（ボディ）に取り付けてください。

- 引掛シーリング（キャップ）の２本の引掛刃を引掛シーリング（ボディ）に挿入し、カチッと音がするまで右にまわしてください。（右図参照）



引掛シーリング（キャップ）のはずしかた
　ボタンを押し、そのまま左方向へまわしてください。

3
引掛シーリングをフランジでカバーしてください。（図４参照）

- フランジは分割した状態で梱包されています。取り付けの際は、コードとワイヤーをはさみ込みながら合わせてください。
- フランジを押し上げて、引掛シーリングがかくれるように天井に密着させてください。

4
ゴムリング（３個）を均等に配置して、ワイヤーとコードをしっかり止めてください。

5
ワイヤー・下部（３本）にシェードを取り付けてください。（図５参照）

- シェードの上部にあるダルマ穴（３ヵ所）にワイヤー・下部先端の球を指し込み、固定してください。
- 球は一旦、大きい穴を通してから小さい穴に引っ掛けてください。

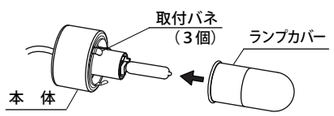
6
ソケットにランプをねじ込んでください。

- ランプを取り付の際は、ソケットを押えながら最後まで確実に取り付けてください。

⚠**警告**　器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。火災の原因となることがあります。
⚠**注意**　ランプの取り付け、交換は消灯後３０分以内に行なわないでください。やけどのおそれがあります。

7
本体にランプカバーを取り付けてください。

- 本体にある取付バネ（３個）にランプカバーをまっすぐはめ込んでください。（右図参照）



8
本体をシェード上部の穴に差し込んでください。（図６参照）

- 本体にある取付バネ（３個）をシェードの穴にまっすぐはめ込んでください。

9
ディフューザーをシェードの下部に取り付けてください。（２ページの図参照）

- シェードの下部に３ヵ所個の球が出ています。それぞれの球をディフューザーの溝に引っ掛けてください。